



できごと

6月26日(火)に、静岡県立中央図書館の図書館講座として、子ども図書研究室講演会を開催しました。

講師には宮下啓三氏(慶応義塾大学名誉教授)をお迎えし、「グリム童話とアンデルセン童話のうそと真実の姿 ~ 「白雪姫」「眠り姫」「人魚姫」「親指姫」の絵本とアニメに生じている不幸な誤解とゆがみ~」と題してお話を伺いました。

ヨーロッパの文化を背景とした高度な内容を、大変分かりやすくお話いただき、160名を越える参加者からは、「もっとお話を聞きたかった」「この様な講演会をまた開催してほしい」という感想が多数寄せられました。

(裏面にて、概要を紹介します。)

子ども図書研究室のテーマ展示

ただいま展示中です!

「美術の本」

子ども図書研究室講座関連資料

新着図書も常時展示中です。

イベント情報

富安陽子さん講演会

『まゆとおに』『タコのオクトくん』など著書多数。皆様ご参加ください。

講師: 児童文学作家 富安陽子さん

演題: 『不思議への入口』

日時: 10月27日(土) 13:30より

場所: 静岡県掛川市掛川1148-1

掛川市立中央図書館 会議室B

* 申込み方法等、詳細は

掛川市立中央図書館(0537-24-5921)まで。

新着資料から

知識 『恐竜研究所へようこそ』



林原自然科学博物館 / 著

童心社

2007年5月

大昔に絶滅した恐竜。その姿を見た人は誰もいないのに、どうして様々な恐竜がいたことが分かったのだろうか。そこには、恐竜博士たちのたゆまぬ努力があった。

恐竜の発掘調査から研究まで、実際にゴビ砂漠で行った調査を通して紹介している。調査隊の一日や発掘、運搬、保存業務等が、イラスト・写真を交えて紹介され、恐竜に関わる仕事を一通り知ることができる。また、臨場感に溢れる数々の写真が、読者を恐竜発掘の世界に引き込んでいく。【小学校高学年から】 (渡辺勝)

物語 『ファイヤーガール』



トニー・アボット / 著

代田 亜香子 / 訳

白水社

2007年6月

新学期、トムのクラスに、全身にやけどを負った女の子、ジェシカが転校してきた。「キモい」「うつる」と言葉にしたり、やけどの原因についてうわさ話をしたりする友人たちにトムは違和感を覚えるが、どうすることもできない。ジェシカに宿題を届けたのをきっかけに、2人は言葉を交わすようになるが、ジェシカは再び転校する。後悔するトムに対して、感謝の言葉を伝えるジェシカ。重い内容だが、決して暗くなく、トムの誠実さとジェシカの前向きな姿勢に救われる作品。【中学生から】 (鈴木由)

子ども図書研究室講演会 報告

講師の宮下啓三先生は、慶應義塾大学名誉教授で文学博士、スイス・オーストリアを含むドイツ文学と演劇を中心としたヨーロッパ文化史が専門です。開催日の6月28日はルソーの誕生日ということで、「子ども図書研究室」の講演会には意義深い日だと言っていました。

まず、次のからお話からグリム童話とアンデルセン童話を選んで



ください、というテストから講演に入りました。

シンデレラ 白雪姫 赤ずきん マッチ売りの少女 人魚姫 ヘンゼルとグレーテル 親指姫 醜いアヒルの子 眠り姫 3匹の子豚 ブレーメンの楽隊 ジャックと豆の木（解答は最後に掲載。）これらのお話は、私たち誰もがよく知っています。副題の「白雪姫」「眠り姫」「人魚姫」「親指姫」も、もちろんこの中に入っています。いったいこの4人のお姫様たちに何が起きているのでしょうか？ 実際の絵本などを見せていただきながらお話は進みました。

「親指姫」では、何の試練や見返りもなく子どもを授けたのは神様なのか魔女なのか、親指姫は本当にお姫様なのか、など、実は重要な部分があまりに安易に翻訳されている、ということが分かりました。

「人魚姫」では、このお話がヨーロッパにおける「妖精」の伝統的な考え方によって構築されているにもかかわらず、キリスト教的な世界観と混同して誤訳をしている例が多数あることが示されました。

「白雪姫」は、ほとんどの日本人が知っているポピュラーなお話ですが、正確なストーリーを知っている人はごくわずかで、本来の昔話の持つ約束事や残酷さが薄れ、著しく話が単純化されていることが分かりました。例えば本文に

よれば髪の色は黒でなければならないのに、挿し絵は黄色や茶色の髪の毛に描かれた絵本があります。そのほか、狩人に命じて白雪姫を殺し、肝臓と肺臓を持ってこさせるといった残酷な部分がカットされているものもあります。

また、「眠り姫」に登場する王子様は、本来、最後にちょこっと出てくるだけの“ちょい役王子”だそうです。

その他にも、「眠れる森の美女」「いばら姫」に基づく妖精と魔女について、グリム童話とアンデルセン童話の比較、さらにはディズニーアニメは「ハリウッドの公式」にのっとりアメリカ流エンターテインメントとして鑑賞するのが適当など、お話は多岐にわたり、この報告にすべて掲載できないのが本当に残念です。

先生は講演の中で子どもの本に携わるすべての人たちに対して、重要なメッセージを送っています。作り手の側のレベルアップはもちろん、買い手である私たちにも意識と知識のレベルアップが必要だということです。

外国の文化を理解し、尊重することが、子ども本の世界をより豊かにしていくのではないかと痛感させられた講演会でした。

答え グリム童話

（ はグリム童話では「いばら姫」
日本で ・ はペロー童話のほう知られている）
アンデルセン童話

所蔵資料から

知識



『メルヘンの履歴書』

宮下 啓三 / 著

慶應義塾大学出版会

1997年7月

「私はメルヘンという言葉の乱用と、日本語の絵本におけるグリム童話の原作からのなはなだしい逸脱による悲しみの気持ちから1冊のメルヘン史を書き上げた」と前書にあるように、メルヘンとは何かを学ぶのに最適な1冊。講演会に来られなかった方にも講演会を聞かれた方にもおすすめ。

（牧田）

*表紙画像はすべて出版社の許可を得て掲載しています。